

# 略歴表

2024年6月20日現在



氏名	藻谷 浩介 (もたにこうすけ)
生年月日・出身	1964年6月18日生まれ(60歳)、山口県周南市(旧徳山市)出身
現職	(株)日本総合研究所 主席研究員 (株)日本政策投資銀行 地域調査部 特任顧問 (非常勤) 特定非営利活動法人 ComPus 地域経営支援ネットワーク 理事長
学歴	1983年 山口県立徳山高校 理数科卒業、東京大学 文科Ⅰ類入学 → 88年法学部私法コース卒業 1994年 米国NY市 市立大学経営大学院 (ビジネススクール) 卒業 (経営学修士=MBA)
職歴	1988年 日本開発銀行(=現(株)日本政策投資銀行)入行 (→2011年末まで常勤) 2012年 (株)日本総合研究所 主席研究員 (会社に席のない単年度更新年俸制社員・現職) (株)日本政策投資銀行 地域企画部(現・地域調査部) 特任顧問 (非常勤・現職)
(うち派遣・出向)	1994年 (財)日本経済研究所調査局 研究員 → 97年出向解除 2009年 DBJツカホール(株)にアットバィ - 兼 IE Singapore パートナ → 10年出向解除
兼職活動	2000年～ 内閣官房、内閣府・国交・農水・総務・厚生労働・財務・経産・文科省等の各種審議会委員多数 立教・法政・山梨学院・青森公立大等の非常勤講師、区立駒場小学校 2008年度 PTA 会長 現在 北海道大・東北大・立命館大・東洋大・福井県立大・公立長野大・新見公立大の、各客員教授 総務省 地域力創造アドバイザー、(一社)LABO 国際交流財団・(一社)マーケティング協会・(特非)日本に健全な森を作り直す委員会・(一社)養老の森等の理事 顧問を務める団体多数
特技・余技	日本地理 世界地理 自転車道 著 作 (書下ろし)
情報発信活動	世界まちかど地政学 Next [文藝春秋 2019年]、世界まちかど地政学 [毎日新聞出版] 2018年]、実測！ニッポンの地域力 [日本経済新聞出版社 2007年] (単著 3万部) デフレの正体 [角川 One テーマ 21 2010年] (単著 50万部、新書大賞2位、ベスト経済書3位) 中心市街地活性化のポイント [ぎょうせい 2001年] 海外の中心市街地活性化 [JETRO 2000年] (編著)
	著 作 (対 談)
	日本の進む道 ～成長とは何だったのか [養老猛司先生との対談、毎日新聞出版 2023年] 東京脱出論 [ブックマン社 2020年]、完本・しなやかな日本列島のつくりかた [新潮文庫 2018年] ピレシ ジブライド [ブックマン社 同年] / 経済成長なき幸福国家論 [毎日新聞社 2017年] / 観光立国の正体 [新潮 社 2016年] / 和の国富論 [新潮社 同年] / 日本の大問題 [中央公論社 同年] / 高津川で見つけた未来の 種 [中央公論社 2015年] / しなやかな日本列島のつくりかた [新潮社 2014年] / 金融緩和の罠 [集英社 新書 2013年] / 経済成長がないと僕たちは幸せになれないのでしょうか? [学芸出版社 2012年]
	一部執筆 分 担
	里山資本主義 [角川 One テーマ 21 2013年] (共著 40万部、新書大賞1位、ベスト経済書9位)、進化する 里山資本主義 [ヴァンダイア 出版 2020年]、若い方・死に方 [PHP 新書 2023]、コロナ後の世界を生きる [岩波新書 2020]、コロナ後の世界を語る [朝日新書 2020]、コロナ後の新ビジネスチャンス [PHP 2020]、 子どもが増えた [光文社新書 2019年]、人口減少時代の社会学 [文芸春秋 2018年]、できることをできる かたちで [レド 2017] / 福島が日本を超える日 [かもがわ出版 2016] / もう東京はいらない [日経出版 2015] / 学校蔵の特別授業 [日経 BP 2015] / (続) 次の本へ [苦楽堂 2015] / 消滅してたまるか! ～品格 ある革新的持続へ [文芸春秋 2015] / 日本未来図 2030 [日経 BP 2014] / 知られざる日本の地域力 [今井 書店 2014] / 地方消滅 [中公新書 2014] / 100年 - から経済を考える [合同出版 2013] / リディング格差を 考える [日経出版 2008] 地方を殺すな! [洋泉社 2007] / 日本の論点 2008 [文芸春秋 2007] / 実践! 地 域再生の経営戦略 [きんざい 2004] / 団塊世代の定年と日本経済 [日本評論 2004] / クラカ戦略 [有斐閣選 書 2002] / 自立する地域 [ぎょうせい 2000] / IT 革命と地方の経済学 [東洋経済 2000]
	連 載
	「時代の風」「書評」(毎日新聞)、「提論」(西日本新聞)、「耕土興論」(十勝毎日新聞)、「直言」(日経 グループ)、「論点」(日本農業新聞)、「聞いている話と違うけど」(全国農業新聞)等に連載中 過去に 毎日新聞経済プレミア(電子版)「藻谷浩介の来た・見た・考えた」2017～21 全217回 「現智の人」との対談シリーズ(新潮 45、2012～15、全18回) 「意外に強い地域の實力」(朝日新聞 be 土曜日青版 2008年度、全50回) 「実測！ニッポン経済」(週刊エコノミスト 2005.10.3号より1年間、全50回) 「全国まちづくり行脚」(月刊石垣 2005.6月～2007.11月号、全30回) 他に北海道新聞、内閣府「共同参画」、全国商工新聞、宮崎日日新聞、南日本新聞、沖縄タイムス等
	登 壇
	登壇および番組出演 累計 7,000 回程度 (うち 2023 年 300 回弱) テーマ: 人口成熟問題、地域経済、地域再生、観光振興、里山資本主義、企業経営、コロナ禍など
ものを考える際 の 信 条	① 絶対数/実例/地理歴史から帰納した仮説を、基本的条理からの演繹と照合、現実の構造を把握する ② 常識は疑い、慣用語は用いず、先入観は排し、反証のある社会通念や各種主義主張には従わない ③ 権力欲、他人や他国への優越感/劣等感、学歴/学術/技術信仰、安易な保守/革新指向を排する ④ 議論・発言の中で臆さず自説を示し、間違っていた場合には悪びれず偉ぶらずすぐ修正する

(ご参考) ビラ等に掲載される際の略歴要約の例  
山口県生まれの60歳。平成合併前の全3,200市町村、海外136ヶ国を自費で訪問し、地域特性を多面的に把握。地域振興、人口成熟問題、観光振興などに関し研究・著作・講演を行う。2012年より(株)日本総合研究所主席研究員。著書にデフレの正体、里山資本主義(共にKADOKAWA)など。近著に、日本の進む道～成長とは何だったのか(毎日新聞出版、養老猛司との対談)。

ご用命ありがとうございます。以下ご確認くださいませ。(藻谷 記)

私は秘書のいない個人事業者で、事務手続きを極力簡素化し、内容に注力しております。  
以下に書いていないことについては、適宜ご判断ください。当方から苦情などは一切申し上げません。  
ご期待以上の結果に向け、勝手に全力を尽くしますので、よろしく願いいたします。



### 1. 事前打合わせはメールでしっかりお願いします：

- ① 書面の**依頼状は不要**です。出される場合には、メールでの PDF 送信のみにしてください。
- ② 打合わせは**電子メールのみ**で行います。非常に細かい注文でも、ご遠慮なくお書きください。  
口頭打合せですと、当日までの間に、内容をすべて失念してしまいます。何を打ち合わせたのか、最初から文字に残すことが効率的です。メールは直前に読み返し、細かいニュアンスまできちんと踏まえて対応します。
- ③ メールには、**自動開封確認機能をご使用ください**。頂いた内容に異存がない場合にはご返信しません。

### 2. 日時決めが最優先です。決まった後は、原則は現地集合・現地解散で勝手に動きます：

- ① 日時が未確定の場合、**1.希望時期(〇月〇旬など) 2.平日/休日 3.時間帯(午前、午後、夕方、夜)をお教えてください**。  
当方から可能日をご打診します。この**1、2、3**を最初に明示頂くことが肝心ですので、よくご注意ください。
- ② 登壇ないし打ち合わせの20分前を目途に、会場まで自分で行きます。特に必要な場合にのみ、ご送迎をこちらからお願いします。万が一遅れそうな場合は、必ず当方から連絡しますので、**携帯電話番号をお教えてください**。
- ③ 逆に当方への緊急連絡には、PC へのメールが最も迅速で確実です。たいへん頻繁に確認しています。
- ④ 切符と宿は常に自分で手配します。懇親会は避け気味です。何かご提案ある場合は、早めにお教えてください。

### 3. 以下の機材を、以下のレイアウトで準備してください。この紙を、会場係の方にもお渡しください：

- ① プロジェクタ+HDMI ケーブルと、当方が持参する PC 電源を挿すための延長コード。
- ② 白色のスクリーンを真正面に据えて、演台は斜め横に置いて下さい。レイアウト図の送信はおやめください。
- ③ ピンマイク (ない場合にはワイヤレスで、またマイク不要と判断されればなしで結構です。再確認不要です。)
- ④ PC は持参のもの(Windows10 機)を使います。事前にそちらの PC で、動作確認をされておいてください。
- ⑤ **パソコンは必ず自分で手元操作します**。必要に応じて延長ケーブルをご用意下さい。**音声や動画は使いません**。

### 4. 演題は先に案を出してください：

- ① 講演内容は、主催者のご意向を踏まえて毎回変えています。そのため、**演題案を先にご打診ください**。
- ② 演題に「...について」はつけない方針です。頂いたご案を簡明な表現にして、当方から再提示します。

### 5. 資料は事前にではなく、終了後に送信します：

- ① 聴衆には画面を見て、クイズに答えながら聴いていただきますので、**資料の事前送付はしません**。
- ② 使用した**パワーポイントファイルを、終了後に送信します**。転送や、主催者サイトへの掲示は一切ご自由です。

### 6. 録音、写真&ビデオ撮影、CATV 放映、正規映像の動画配信はご自由に。詳細講演録の公表はNG：

- ① 録音、動画撮影、静止画撮影、ご自由にどうぞ。コンテンツの再利用は、組織内部向けであればご自由です。
- ② 講演録作成は、1 ページ以上になるものは一切お断りします。事柄自体のプレスリリースは問題ありません。

### 7. 謝金は、そちらの予算額をご打診ください：

- ① 私は個人事業者です。消費税など諸税を生真面目に納税していますので、謝金に**消費税 10%を加算ください**。  
インボイス適格請求書発行事業者の登録番号は、T2810165378690 です。
- ② 旅費謝金については**まずご予算の額をご打診ください**。多くはその額で承っておりますが、財源や専従者をお持ちの団体主催であって、類似団体や会場費に比べ額が著しく少ない場合には、再提示をお願いしています。
- ③ 旅費謝金額の確定後に、**旅費と謝金それぞれについて、源泉徴収をされるか、される場合には幾らかをメールでお教えてください**。やり方は主催団体ごとに違うようですが、わからないと当方の税務申告ができません。
- ④ お支払いは**事後の個人口座振込み**でお願いします。**口座番号、住所、マイナンバーを、ご担当者**にメールします。

上記の中のご質問に **2①&7② →4① →2②&7③** の順でご回答ください。(2①&7②は最初に！)

以上です。よろしく願いいたします。